

まち歩き調査 現況と課題

旧奥州街道（日光街道）本町～大伝馬町～通旅籠町

日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会 第9回総会 配付資料

江戸時代の奥州街道（本町通り）

古くからあった浅草の集落を結ぶ奥州道（旧奥州街道）が、江戸時代以前から重要であった。江戸の中期からは、南北に伸びる日本橋通りが軸となっているが、奥州道に繋がる本町通りでは、町屋敷がこれに正面を向けていた。この本町通りは、江戸城、富士山、筑波山へのビスタなどもあるが、古くからの地形に沿って、常盤橋から幾筋か折れ曲がり浅草橋に至っていると考えられる。

「東都大伝馬街繁栄之図 歌川広重画」

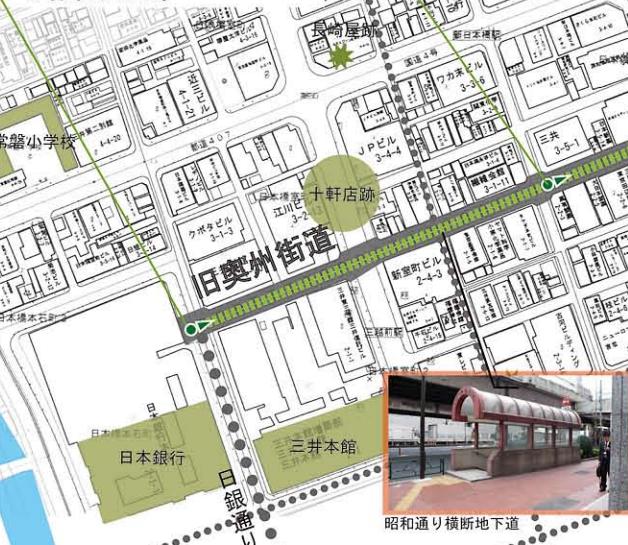


日銀通りとの交差部



風格のある整えられた室町周辺

幅員が広く、歩道も十分にあり、植栽等の整備がなされている。沿道のビルも、比較的大きく、総合設計や再開発により修景している場所もある。個別開発でも街並みに配慮しているところも見受けられる。



小津和紙

江戸時代から続く老舗で、現在では日本一の和紙の専門店である。小津ギャラリー、小津史料館など、和文化の普及にも努力している。



江戸通り

幹線的な道路ではあるが、沿道が整えられ、JRと地下鉄などの交通結節点であり、まちとしての活気もある。



郡代屋敷



清杉通り以東

清杉通りは幹線的な道路で、交通量が多いこと、東日本橋のまちとの関連が薄いことから、歩行者の利便性や安全確保がなされなければ良い。むしろ、横山町のゲートとしての機能を整えることが重要である。

清洲橋通りでの分断

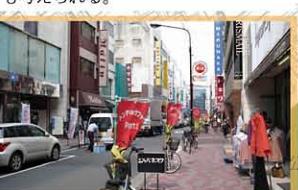
清洲橋通りが幹線的な道路で交通量が多く、西側の地区との連続性を阻害している。横山町へ至るゲートとしての機能も必要である。



ボタンの美術館（アイリス）

横山町の賑わいと課題

衣料・織維の問屋街として賑わいを見せている。電線の地中化、歩道タイルの統一などの修景が整えられている。他地域との繋がりによる、相乗的な地域の魅力づけなどの展開も考えられる。



対象とした通り・路地

旧奥州街道・横山大通り

通り・路地の沿道

拠点・ポイント

現状のイメージ・環境等
良好なイメージ・環境
好ましくない
複合的な課題

昭和通りによる分断

旧奥州街道は、江戸時代の古くから重要な表通りで、明治時代も市電が通る主要な街路であった。しかし、現在は昭和通りと首都高で分断されており、地下通路での横断となっている。



マルサンビルと人形町通りの間

歩道部も併せて幅員が狭くなり、沿道のビルの規模も中小規模となり、広告・看板が不揃いで、統一感のない街並みとなっている。建物の用途も商業、業務、居住が混在し、他用途からマンションへの転換もみられ、低層部の用途や街並みの連続性が課題である。



旧日光街道と人形町通り

旧日光街道の地域の中間点であり、西の中央通り周辺と東の横山町を結ぶ中間地点であり、賑わいのある人形町通りと交差する地点でもあり、結節点としての役割を担うポイントである。角地の三井住友ビルは、公開空地制度により、通りに向けオープンスペースを生み出している。



甘酒横丁

昭和通りによる分断

一応、信号による平面交差ではあるが、首都高下の空間が薄汚れ、暗く安全・快適性の面から見て好ましくない。通りの連續性も、視覚的・体感的にも遮断されるイメージ。

日本銀行前

イベントなど以外は利用が制限されるが、修景されたオープンな広場が広がり、通りと歩道も開放的で広い。歴史的な建物が集積し、風格のある通りとなっている。

常盤橋周辺

旧常盤橋や常盤橋、常盤橋公園など老朽化が目立ち、河岸にホームレスが居住している。日本橋川河岸に事務所系ビルが新築されたが、河川や建物、橋などの景観の連続性が課題である。

相森神社

創建は平安時代ということで、江戸時代は城下の三森の一つとして、庶民信仰を集めたとありますから、緑豊かなところであったと思われる。

日本橋堀留町通り

保健センターや掘留公園などがあり、商業施設が多く、少し活気がある区間。しかし、業務系と混在し、中小のビルも多いことから、街並みにまとまりのない感じがする。

みどり通りの東西

業務系のビルが多く、賑わいはないが落ち着いた雰囲気がある。みどり通りだけではなく、商業が中心の密集・混在した街区を構成し、真ん中に路地が通っている。ビジョン株式会社のビルの前では「幸運を招く猪」のモニュメントが飾られていた。

清洲場通り交差点方向を望む

薬研堀不動院

東日本橋 2丁目（混在地区）

業務と居住の混在地区であるが、交通量も少なく、落ち着いた雰囲気がある。

左側が日本橋中

東の通りの拠点としての機能

幹線道路の清洲橋通りと清杉通りがY字型に交わり、交通動線が錯綜している。地下鉄乗り換え等の歩行者が比較的多く、これ通りや地区に取り込まれ掛けが課題となっている。

対象とした通り・路地

みゆき通り・江戸桜通り

通り・路地の沿道

拠点・ポイント

現状のイメージ・環境等

- 良好なイメージ・環境
- 好ましくない
- 複合的な課題

金座通り・人形町通り・甘酒横丁



コレド日本橋裏手

低層の建物と水を取り込んだ公園が心地よい環境を作り出している。路地側にも喫煙者のための休息スペースがある。



八重洲仲通り

密集・集積した商業空間が展開されている。猥雑さの中にも賑わいがある。



八重洲1丁目の路地

仲通りから入った路地は、飲食店の連なりの中に稻荷があったりして、変化のある空間を作っている。

さくら通り

東京駅から地域へ誘導する通りとなる。桜をテーマとした修景が施され、中央通りへアクセスする通りとして、沿道の商業系の施設と併せて賑わいがある。



外堀通り

東京駅と地域とを結ぶ軸線に対して分断要素となっており、地域の顔としての通りの修景を図るとともに、デッキ等、横断に工夫が必要である。

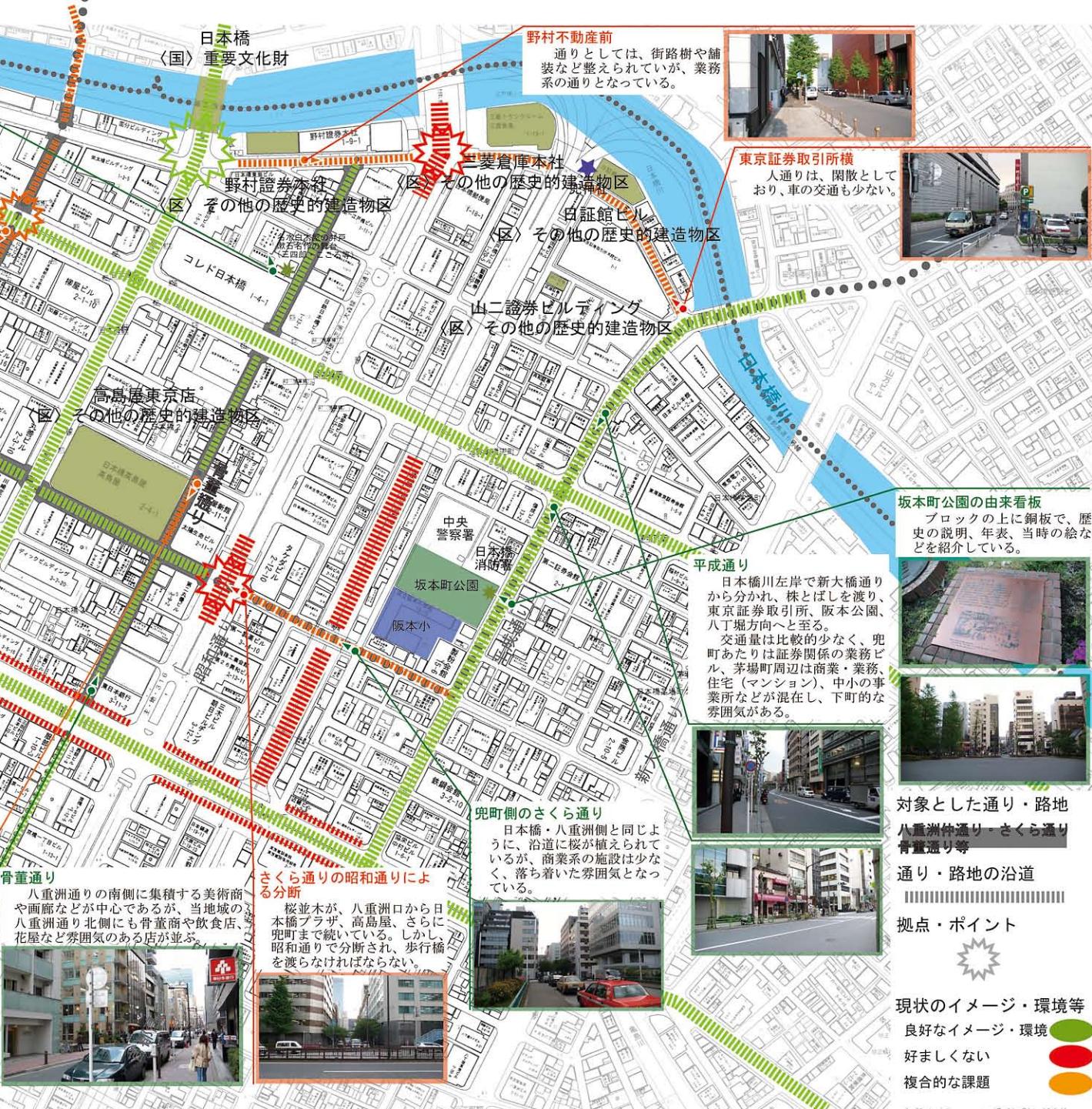
高島屋裏手

高島屋の荷さばき口があり、搬入車と歩行系の交通軸が交わり、安全性への配慮と、街並みの連続性への工夫が必要である。



八重洲通り

東京駅へ至るメイン通りで、充分な幅員、修景も施されているが、八重洲地下道と含めて老朽化が進んでいる。沿道のビルも中々のものが多く、連続した良好な街並みづくりとしては問題がある。



まち歩き調査・川巡り調査の課題

今年度、本委員会の年間テーマである“まちを繋ぐ水辺と通りの活性化”を具体的に検討するために、「まち歩き調査」と「水辺巡り調査」を実施しました。

日本橋地域では、「中央通り」と「人形町通り」が賑わいの軸となっていますが、その他にも魅力ある通りや路地が点在しています。しかし、地域全体は、日本橋川と首都高速で南北に分断され、南北それぞれの地区で、さらに昭和通りや首都高により東西に分断され、これらの地域の個性ある資源が充分に活かされていないのが現状です。

このまちの課題を、地域全体で共有し、今後のまちづくりに活かすことが大切です。

今回の調査の対象として考えられる水辺と通り

水辺 通りと路地

通りや路地による賑わいの広がり

地域の活性化の軸となる通り

顔となる大通り（動脈）

通りと路地（静脈）

広域的な交通を受け持つ道路

通過交通の処理
地域の分断要素
沿道機能の誘導・修景

繋がりを妨げる要素



地域の分断
(河川・広域交通等)

地域の通りとの分断箇所
(交差点等)



通りの拠点
(交差点)



水辺の拠点
(橋詰め等)



地域の主な資源

歴史的な建造物等

史跡等（看板・サイン等）

神社仏閣

公園・緑地
緑道

公共及び文化的な施設

